平成 28 年度決算の概要

学校法人高千穂学園の平成 28 年度決算は、学園監事及び監査法人の監査を受け、5 月 23 日の理事会・評議員会において、確定いたしました。

事業活動収支計算書により平成 28 年度と平成 27 年度を比較して本学の経営状態を説明いたします。

収入のうち、学生生徒等納付金は、退学除籍率の減少や入学者数増加・納付金増額により 8 百万円増の 18 億 96 百万円となりました。寄付金は、同窓会等からの教育活動収入(本業に関わる収入)、寄付金と父母の会から特別収入(臨時的な収入)、施設設備寄付金を合わせて、8 百万円となりました。補助金は、国や東京都・杉並区等からのものであり教育活動収入、経常費等補助金と特別収入、施設設備補助金を合わせて 3 億 14 百万円となりました。

これらの収入の合計である事業活動収入計(企業会計の収益に相当)は 2 億 57 百万円減の 24 億 64 百万円となりました。減少の要因は特別収入、施設設備補助金に係る私立学校施設整備費補助金が年度により申請・交付額が異なる為です。(平成 27 年度:4 億 58 百万円、平成 28 年度:96 百万円)

支出の内、人件費は、2 百万円増の 13 億 26 百万円となりました。教育研究経費は 94 百万円減の 7 億 79 百万円となりました。これは新校舎建設に係る、建物解体費が減少した為です。(平成 27 年度:1 億 26 百万円、平成 28 年度:24 百万円) 管理経費は 4 百万円減の 1 億 93 百万円となりました。借入金等利息は登戸グラウンド取得に係るものです。

これらの支出の合計である事業活動支出計(企業会計の費用に相当)は、15 百万円減の 25 億 58 百万円となりました。

学校法人が教育研究水準を維持・向上していくために事業活動収入の中から組み入れた基本金の額は 50 百万円減の 1 億 9 千万円となりました。基本金取崩額 28 百万円は文部科学省通知に基づき、第 4 号基本金を取り崩したものです。

基本金組入前当年度収支差額は△93 百万円となり、基本金組入前当年度収支差額から基本金取崩額を加え、基本金組入額を差引いた結果、当年度収支差額は△2 億 83 百万円となりました。